

文芸小くらがわ

俳句

【桜川市岩瀬「秋」俳句会】

西空を埋めて真赤やあきあかね 小林 啓治

誰れ彼れと居ても所詮は冬の月

三代 みちよ

ははの歳遠くに過ぎて年用意 入山 ひろ子

年忘れとて忘れ得ぬ年なりし 細谷 充女

こだはりの消えてあたりし日向ぼこ

若色 寿美女

試歩の杖今日はここまで草もみぢ

金田 とう女

つつつと走る一本足の落葉かな

斎藤 みよ

荒星や落ちし木の実の深い闇 渡部 千恵子

初しぐれ孫赴任せしパリにテロガ

萩原 きしの

【茂山俳句会】

木の実独楽夫少年の顔となる 鈴木 ノブ子

花八つ手もの言ひたげな子の瞳 松崎 いま

つつましき嫁の仕種や冬仕度 皆川 一女

八十路の灯一つ点して返り花 笠倉 陽子

地下足袋に力貰つて芋を掘る 大関 くに

行く年や聞かず終ひの子の本音 鈴木 つぎ

漉き込みし和紙に紅葉の燃ゆるかに

竹林 てる

返り咲く一輪ことにいとほしく 吉原 秀子

枯蓮や空也の分身並ぶごと 海老沢 静夫

息掛けて拭く手鏡に愁思なほ 宮本 芳江

返り花釣り一竿の腕試し 君島 真理子

小春日や龍神峡の橋の上 金子 弘毅

沼底をおおふ枯藻の揺れ明り 海老沢 幸子

林檎煮てシナモン香る小六月 吉原 京子

御陵道さみしきまでの返り花 今井 繁子

故郷の香り懐かし今年米 宮本 立男

児を降ろすたび寒くなる園児バス 飯山 昭

短歌

【岩瀬短歌会】

農衣みな必要無しと思ひつつも納屋の隅所に
吊し置きたり 萩原 きしの

啄木の「悲しき玩具」よみふける苦節の日々
を知りて切なし 大関 にち子

徹底の討論会と言ひながら時間来たりていつ
もの尻切れ 泉 三郎

海浜のコキアに集う外つ国の人と互いに手を
振り和む 飯田 良江

春の芽をしつかり抱く桜木の梢あらわに夕陽
を纏う 渡辺 しな子

海風を受けてコキアは立ちつくすそれぞれの
赤それぞれの秋 浜野和 操

繁雑な時を逃れて竹むらの風のさやぎに心あ
ずける 瀧井 幸子

うたかたの錦絵のなかを運ばれて樺平に冬の
風受く 小林 美瑛子

朝まだき暗き庭すみ灰白く雪かと紛う終の花
石田 守子

白髪にワインレッドがよく合ふとすすめ上手
に買ひしセーター 広沢 日出子

銀杏散る真つ口中を子供らは両手を伸べて
嬉々と遊べり 古賀 澄

チューリップの球根を植え小春日の陽差しの
下にはつと温もる 山田 しげの

幼き日君と摘みにし野の菊よわれ老いたれど
野路に香ぐわし 鈴木 英雄

下駄箱の中に見出す母さんの指跡残りし下駄
あててみる 榎戸 正江

秋雨の灰色の街走りゆく反抗期なる息子を乗
せて 浅賀 順子

から松の林遥かに聳え立つ谷川岳は雪被さ
たり 大久保 富美江



あなたの側で、
誠実に、忠実に。

digital
Digital Print Co., Ltd.

株式会社 **デジタル印刷**
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724
www.digital-54-2626.com

一人暮らしに不安を感じていらっしゃる方、お気
軽にご相談下さい。介護の必要な方も訪問介護
等を利用されながら生活することが出来ます。

・物忘れが多くなった ・具合が悪くなった時に心配だ
・食事の支度が大変だ ・退院した後の生活が不安だ
などの心配ごとはございませんか？

真壁消防署の交差点
からつくば方面1つめ
の信号を左折

軽費老人ホーム (ケアハウス) ☎ **0296-55-1029**
グリーンヴィラ 桜川市真壁町田1428